



小田小だより

平成30年1月号

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号

TEL 045(775)3011

<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/koda/>

横浜市立小田小学校



明けましておめでとうございます
～冬に咲くアサガオに思いを寄せて～

学校長 木村 昭雄

『正月』の『正』という漢字の成り立ちを知り、「なるほど！」とうなずいてしまいました。スタートライン、夢や目標を表す『一』と、足を表す『止』とを合わせた字なのです。つまり、『正月』は夢や目標をしっかりとって、それに向かって真っすぐに歩みを始める最初の月なのです。夢や目標に近づくよい年になるか、『うーん』という年になるか、これからの過ごし方で決まります。まさにこの『正月』の字です。よい年にするために、一人ひとりが『一』にあたる年の初めの夢や目標をもち、また、学級の目標を目指して学校生活を送りましょう！後期後半初日の私の朝会講話の一節です。夢や目標、課題解決に向かって頑張っていくその積み重ねが、子どもたちの「学ぶ意欲」と「生きる力」となっていきます。

二十年以上も前のことです。私が最初で最後の1年生の担任をしたときのお話です。夏休みにたくさんの花を咲かせたアサガオの鉢を子どもたちが学校に持ち寄り、種採りに夢中になりました。自分で種をまき、毎日水やりなどの世話をし、たった一粒の種から何十粒もの種を採ったのですからそれはそれは大喜びです。すると子どもたちは、「この種、すぐまこうよ！」と言い出しました。私は、「種まきは春でしょ」と当たり前のように思っていましたから、子どもたちのこの発言にはびっくりしました。しかし、これはいい学習のチャンスだと思い直し、クラス全員で10月の種まきをしました。

10月にまいたアサガオは、春よりも背丈は伸びず、ほとんどつるも巻かず、それでも小さな花を咲かせたのです。少しだけでしたが種も採れました。このことを37名の1年生は、12月の肌寒い日にしっかり確かめたのでした。

さらにその後の話し合いが何とも愉快でした。ある子が、「アサガオは、秋や冬がきらいです。」

と言ったら、ほかの子が「でも、がんばって花を咲かせたし、種だって作ったんだから、『秋や冬は苦手です』のほうが良いと思うな。」

「アサガオが好きなのは春と夏です」というのも書いたほうが良いよ。」ほんとうに一生懸命でした。最後に自分たちが10月のアサガオの成長をまとめた模造紙に、みんなで思い思いのメッセージを書き添えました。「どんどん寒くなっていく10月にまいちゃってごめんね。本当は4月にまいてほしかったんだよね」一人の男の子が書いたメッセージです。

その後があるのです。秋や冬にまいた方がよい種もあることを聞いてきて、ポピーの種をまくことになりました。成人の日の祝日、担任の私は花壇に無数に出たポピーを間引いたり、移植したりに丸一日を費やしましたが、春にはほんとうに見事に咲き誇ったポピーの花壇にみんな大満足でした。

1年生の子どもたちは、だれに教えてもらうでもなく、自分たちで課題を解決する過程で、植物には適した時期があることを知ったのだと思います。こうした力が「学ぶ意欲」「生きる力」につながるのだと今更ながら思い返しました。

本年も、小田小学校教職員一同、「学ぶ意欲」「生きる力」を育むために授業を工夫したり、教育環境を整えたりしながら、日本の未来を担う子どもたちの健やかな成長のために頑張っています。昨年同様、本校の教育活動へのご理解とご協力を願ひ申し上げます。